

木質バイオマス発電所稼働に向けた地域説明会の結果について

生活環境部 脱炭素社会推進室

令和4年5月10日（火）午後7時から、双葉公民館1階ホールにて、「木質バイオマス発電所稼働に向けた地域説明会」を下表のとおり開催いたしました。

No.	項目	内容
1	対象者	<ul style="list-style-type: none">・木質バイオマス発電事業用地の周辺8自治会（岩森、笠石、菖蒲沢、米沢、団子、東部、上郷、山本の8自治会） ※コロナウイルス感染症対策のため、公民館の利用に関するガイドラインに準じ、自治会協力のもと、あらかじめ参加人数の制限を設け開催いたしました。
2	出席者	<ul style="list-style-type: none">・自治会 自治会長… 6人 地域住民… 8人 市議会… 7人（市議会議員、事務局） <u>計21人</u>・事務局 甲斐市… 5人（生活環境部脱炭素社会推進室） 発電事業者… 5人 (グリーン・サーマル(株)、 大和エネルギー・インフラ(株))
3	説明会の概要	<ul style="list-style-type: none">・資料①に基づき、甲斐市より前回の説明会前後の事業進捗状況、及び前回の説明会で寄せられた意見に対する検討事項の説明を行いました。・木質バイオマス発電事業紹介DVDの視聴・資料②に基づき、グリーン・サーマル(株)より発電

		所建設工事の内容と安全対策、燃料の集荷に関する安全対策、生活環境調査（自主アセスメント）結果について説明を行いました。	
4	質疑応答 事）発電事業者の回答	質 疑	回 答
		1. 環境・安全関係 ①東川への排水温度について	事）約 25℃の排水が用地内の調整池を介して東川へ流れる。河川への影響は軽微なものと考えている。
		②放射能汚染された木材の使用防止について	事）従業員の身を守るためにも、防止について神経を使っている。これまでも放射能測定をしながら事業をしており、最近では福島発電所近くの木材測定値も落ち着いてきている。甲斐市でも測定を行うなど、仕入れ先については十分注意していく。
		③バグフィルターの仕様について	事）バグフィルターの集塵効率は 99.9%であり、十分に排気ガス中の微粒子を集塵できると考えている。
		④発電所建物の景観への配慮について	事）発電所の色は緑色がスタンダードであるが、甲斐市の景観条例に基づく景観審議会において協議された結果、緑色ではなく、

		<p>2. 事業関係</p> <p>①事業所の設置時期について</p> <p>②地域で興す目的会社について</p> <p>③過去の事業の撤退理由と燃料材汚染の指摘について</p>	<p>ねずみ色に近いグレーにすることになった。</p> <p>事) 発電所を運営する子会社としてグリーン・サーマル甲斐株式会社があり、発電所事業用地内に社屋を構える予定である。来年の3月から4月頃には、従業員が通えるような形となる。</p> <p>事) 新潟の三条市、山形県の米沢市と同じように、発電所に付帯して地域に根差した会社として現地名を付して登記させていただいている。今回もグリーン・サーマル甲斐株式会社を、甲斐双葉発電所の管理運営会社として設立している。</p> <p>事) その地区の事業は、工業団地内での計画であったが、市が誘致する工場としてふさわしくないとの意見が強く出てきてしまい、最終的に市から断念の説明を受けた。当時は、</p>
--	--	---	---

		<p>3. その他要望事項</p> <p>①この事業の良さ、安心、安全性を広報するため、また、軌道に乗せるためにも環境アセスメントの原本公開を要望する。</p>	<p>3.11（東日本大震災）のこともあり、放射能汚染された木材が運搬されるのではないかとの意見や反対があったが、そのことが撤退理由ではない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--	--	--